

# 特定外来生物から環境を守る

特定外来生物とは、もともとその地域にいなかった外来生物のうち、特に、生態系、人間の生命・身体、農林水産業などに悪影響を与える侵略的な外来生物のことをいいます。特定外来生物は、飼育・栽培・運搬・販売、野外に放つことなどが法律で禁止されています。



## 特定外来生物が引き起こす問題



### 人の健康を害します

足を除いたメスの体長は、1cm前後。背中の中身に赤い模様があります。このクモは、毒を持っていて刺します。

**決して、素手で触らないでください！**  
見つけたら、市販の殺虫剤などで駆除するか、踏みつぶしてください

セアカコケグモ

四日市自然保護  
推進委員会  
桐生 定己さん



近年は、初夏に咲くオオキンケイギクが市内でたくさん見られます。オオキンケイギクは、コスモスに似た黄色い美しい花で、市街地周辺の道路沿いや空き地・庭先などに広く群生します。

オオキンケイギクとオオフサモは多年草なので、刈り取るだけでは駆除できません。根から抜き取って種などが飛散ないように注意し、駆除を行ってください。

市内の希少な植物を守るため、皆さんもぜひ覚えてください。



### 生育が拡大し、生態系に悪影響を与えます

その場所にもともと生えていた植物に覆いかぶさって枯らしたり、在来種と交雑して雑種を形成したりして、従来の生態系のバランスを崩すことがあります。左記の植物は、繁殖力がとても強いので、抜き取って駆除することが必要です。

**見かけたら、根から抜き取ってゴミ袋に入れて処分してください**

オオキンケイギク

アレチウリ

オオフサモ

### 防除計画を策定しました

市内でもアライグマやヌートリアが最近多く確認されています。そこで、本市は、「四日市市アライグマ・ヌートリア防除実施計画」を策定し、適正な防除を実施します。

### 目撃情報を募集します

特定外来生物のうち、アライグマやヌートリア、セアカコケグモの分布調査を行っていますので、目撃情報を環境保全課(☎354-8188)に連絡してください。kankyuhozen@city.yokkaichi.mie.jpでも目撃情報を募集しています。



アライグマ

頭胴長40~60cm、尾長20~40cm、体重4~6kg、尾にリング状のしま模様がある。木登りが得意

### 農作物への影響が懸念されます

アライグマは、雑食で、農作物を食べたり、畑を踏み荒らしたりするほか、屋根裏や床下などの家屋へ侵入することなどによる被害が発生しています。

ヌートリアは、イネや根菜類に大きな被害を及ぼすほか、水生植物を大量に捕食し、在来の鳥類などのエサを食べてしまうことがあります。

**エサを与えないでください！**

アライグマもヌートリアも繁殖力が強い生物です。例えば、年に数回出産するヌートリアは、半年で繁殖可能となるため、エサを与えると、急速に数が増えます。もともと住んでいた生き物を駆逐してしまうかもしれません。絶対にエサを与えないでください。



ヌートリア

頭胴長40~60cm、尾長30~45cm、体重5~9kg、オレンジ色の長く鋭い前歯がある